

No.	意見
1	<p>① (No22) 家庭で育児をしている方への個別アプローチに関して (提案)          コロナの影響で、親子 (主に乳児) が一堂に集まって交流することが難しくなった。また、母親の仕事復帰が早まるなど、子育て拠点や地域サロンで過ごす期間も短くなっている。利用が減っているであろう子育て支援センターや保健師などの資源を活用し、ぜひ訪問や健診時に面談など個人レベルで個別支援の機会を設け、育児のスタート期をフォローしては、と考える。</p> <p>(No32) 働く保護者への子育て支援が、保育園だけだと担いきれないのでは、と感じている。コンシェルジュなどが、降園時お迎えの保護者と世間話をしながら相談などを受けられる機会を設けてはどうか。</p> <p>(No不明) 子育て支援と交通          車のない (乗れない) 保護者のため。交通アクセスのよいところに支援拠点を設けるか、支援拠点を回る巡回バスを走らせるなどしてはどうか。</p> <p>(No162) コロナ禍でひとり親の就労環境が心配だ。雇止めなど苦境に陥った際、スムーズに支援につながるよう、これまで以上の策が必要だと思う。</p> <p>0.1.2歳児の保育を増やしていただきありがとうございます。(保護者個人としてのお礼です)</p>
2	<p>①自治体によっては乳児検診を各医療機関への個別受診のスタイルになっている地域もあります。水口での乳児検診に20年以上かかわっておりますが、集団で市主催での現行スタイルを今後も是非つづけていかれてはと思います。</p> <p>②小児科専門施設が少ない地域特性、医師・保健師・栄養士・歯科など総合的チェックや助言が可能、ネグレクト等への気付きなど長所が多いと思われまます。</p>
3	<p>①令和4年4月、伴谷で開園予定だった認定こども園が森島学園の辞退という報により保護者から次のようなお話を耳にしました。</p> <p>(1) 認定こども園の運営や開園時期、園児数等を考慮して他の保育園への申し込みを選択したが、兄弟二人別々の保育園への許可となり送迎や園の行事等を考えて一人の入園をあきらめた。改めて辞退届の時期や背景等を考慮して追加募集等はできないか。</p> <p>(2) 森島学園の辞退により別の事業者を公募するのか。また現在の保育園、幼稚園は公立としての存続はいつまでか。方針によっては次年度の園児応募への対処も変わってくる。</p> <p>認定こども園関連については都度市のホームページ等でも広報されると思いますが幅広く丁寧な説明を望みます。</p>
4	<p>①職員研修についてeラーニング等にて実施検討すべきではないでしょうか。</p> <p>②高いニーズへの対応、行って欲しいと思います。(事業者応募辞退の理由はどのような理由なのでしょう?)</p>

	<p>①②特になし</p> <p>(1) 未満児待機児童問題について</p> <p>資料の数字を見せていただき、努力いただいているおかげで、以前と比べてだいぶ緩和されているように思いますが、それでも毎年この時期になると保護者間で保育園の争奪戦のように様々な話が聞こえてきます。本年度末においても「希望の保育園に入れなかった」「送り迎えの都合上、こちらの保育園の方がよかったが無理だった」等何とかならないのかな？という相談が何人かの保護者さんから私のような一般の者にもありました。数の上で待機児童数はそんなに多くないように見えますが、実際のニーズはもっと多いように感じました。</p> <p>5 (2) ICTの活用について</p> <p>個人的には、子育て支援に対する政策は充実していると思いますが、それらの情報を利用する側の人達が知らないことが多いように思います。病児保育やファミリーサポートセンターの琴、各支援センター等での行事案内や予約システム（てるてるパーク等コロナ禍の影響により事前予約が必要になった施設）などがもっと使いやすくわかりやすく広がればいいなあと思います。素晴らしい支援活動やサロンなどが沢山あるのに、いろんな方と話をしているとまだまだ多くの方がそれらを知らないのが残念です。ここまあちなどもありますが（SNS版も含め）、それ自体の存在を知らない、まだまだ利用者が少ないようにもいますので、より使いやすく便利にさせていただきながら普及させていく必要があるのではないのでしょうか。</p>
6	<p>①今般の新型コロナウイルス感染症対策にあたりましては、甲賀保健所からの指示・依頼に対し、迅速かつ適切にご対応いただきましたこと、改めて御礼申し上げます。これらの経験からも、子ども・子育てを応援するにあたって、感染症を含めた親子の健康維持やそのための正しい情報の理解と実践が必要不可欠であることを痛感しております。幸い、甲賀市域内では家庭からと推測される子どもの感染はありましたが、子どもにかかる施設等での感染拡大はありませんでした。子どもにかかる施設での感染対策等に努めていただくことは勿論のことですが、感染が疑われることによるPCR検査等を受けることも、子どもには大きな心理的負担となることを懸念しております。今後、「第2期甲賀市子ども・子育て応援団支援事業計画」の実施にあたりましては、感染症対策も視野に入れた、体と心の両面から健全な育成への取り組みがなされますよう、お願い申し上げます。</p>
7	<p>①保育人材確保と保育士等離職防止、処遇改善、などの文言を基本方針に入れ政策の充実をはかって頂きたい。今後、必ず、子ども人口減少地域における行政手立てが必要と思われるため市内各地域の児童福祉施設の継続政策について問題を協議することが大切である。ex) 低年齢児入所申込みについて申込み後、とり下げによる人件費負担等</p>
8	<p>①②特になし</p> <p>お世話になりました。何の力にもなれず申しわけありませんでした。来年度は直接みなさまのご意見をうかがえるよう願っています。甲賀の子どもたちが安心してすこやかに成長できるよう今後もお力ぞえください。</p>

9	①第2期計画（令和2年度～令和6年度）の課題の中に示された基本方針3，4について、子育ては、生まれて子どもが独り立ちするまでの長い時間の中で、子どもだけでなく、親も共に成長していくものだと考えます。このあたりに焦点をあて、関係機関が連携し、保護者に寄り添いながら支援していくしくみのさらなる強化が必要だと考えます。
10	②増設につきましては、着々と進められているのがクチコミでよく伝わってきています。コロナ禍の甲賀市の厳しい状況下で即断され進められている点に感動しています。入ったばかりですので勉強させて下さい。